

vol.115

2022 年 3 月号

公益財団法人国際障害者年記念 ナイスハート基金

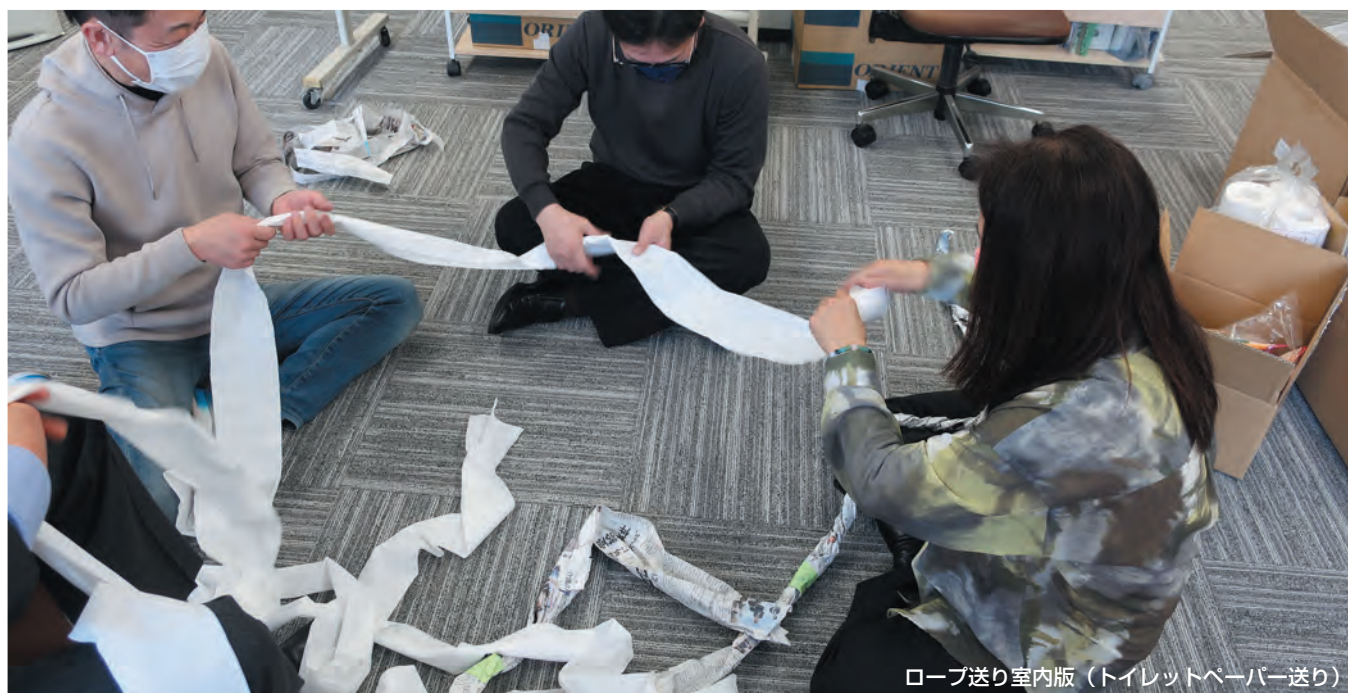
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-4-1 芝パークビル B 館 4 階

電話：03-3434-2170 FAX：03-5401-0681

URL: <https://www.niceheart.or.jp>



な い す は あ と



ロープ送り室内版（トイレトペーパー送り）

表紙／写真	2021年度ユニバーサルスポーツの普及に関する調査研究……………	1
報告／	2021年度ユニバーサルスポーツの普及に関する調査研究 ……………	2
	2022年度事業計画……………	4
お知らせ／	ふれあいのスポーツ広場上半期の開催日程・寄付金御礼……………	6



2021 年度ユニバーサルスポーツの普及に関する調査研究 ～コロナ禍におけるユニバーサルスポーツの研究～

去る3月9日に当基金事務所において、有識者の方々と対面し、ニュープログラム作りを実践しました。競技を通してつながりを実感できることを前提に、今まで議論を重ねてきたプログラムの内容を試行錯誤し、その結果を報告書としてまとめることが出来ました。今回はその一部を抜粋させていただきます。(当基金HP「ユニバーサルスポーツの普及に関する調査より」)

【実施主体】

公益財団法人国際障害者年記念ナイスハート基金
有識者による研究会

- ・藤田 紀昭さん 日本福祉大学スポーツ科学部長・教授
- ・金山 千広さん 立命館大学産業社会学部教授
- ・林田 はるみさん 桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部教授
- ・佐藤 一樹さん 仙台ユニバーサルスポーツ研究会 代表

～ニュープログラム開発の経緯～

ニュープログラム開発にあたり、コロナ禍において安全で安心な運営体制及び競技内容を検討してきた中で、2020年度には、新型コロナウイルス感染症対策プログラムの試行と称して、仙台リハーサル大会を実施しました。そこで浮き彫りになった課題を踏まえ、2021年度は、ふれあいのスポーツ広場鹿児島大会での取り組みに反映させて参りました。しかしながら、未だ収束の見通しが立たない新型コロナウイルス感染症に対応すべく、オフライン以外でふれあいのスポーツ広場の代わりとなる提供方法の開発に至りました。

～ニュープログラム開発の方法～

提供方法について有識者と様々な議論を交わし、オンラインのみならずYouTube等のオンデマンド方式やそれを複合した方法等、多くのアイデアを出し合いました。

その中からニュープログラム開発の目的に叶う、競技を通してつながりを実感していただくこと。そして皆で力を合わせたという実感を体験していただくこと。それらを実現することを大前提に検討しました。

オンデマンドでは実感しにくいのではないかと。個人対個人の競技よりも皆で競い合う内容にした方がよいのではないかと等の意見がある中で、今回は、オンライン形式で小規模な事務所内でも可能なユニバーサルスポーツ競技の開発を試みました。場所も人数も環境も様々であるがゆえに、下記のコンセプトと使用道具に基づいて競技を紹介します。紹介した競技は完成形ではなく、ふれあいのスポーツ広場がそうであったように、トライ＆エラーによって洗練されカスタマイズしていくと考えています。

※コンセプト

- ・移動なしで出来る。
- ・身近な道具を使用する。
- ・安全である。
- ・人数に関係なく勝敗を決められる。
- ・チーム分けする必要がない。

※使用道具

- ・空のペットボトル / ペットボトルのふた
- ・傘
- ・新聞紙
- ・トイレットペーパー
- ・紙風船 / 風船

※傘バスケット

① 方法

傘をゴールに見立てて、バスケットのようにシュートをします。下図のようにゴールは傘を反対にして1人が持ちます。投げるボールは、ペットボトルのふたや紙風船や風船を試しました。

② 勝敗

1案は傘に入った個数を競います。その他の案として、傘の中の大きさ（例 ペットボトルのふたは1点/紙風船は2点）によって事前に得点差を付けて競います。さらにラッキーナンバー（競技後に数値を伝える）に近い方が勝利します。また、全ての競技に当てはまりますが、参加する1施設ごとの勝敗と、オンラインに参加された全体の総数を競うという勝ち負けもあります。

③ 特徴

今回はペットボトルのふた等をボール代わりにしましたが、身近で安全な品々によって代替品は色々あるだろうと推測します。障害の特性によって傘までの距離や高低差を変えることでケースバイケースの対応が可能だろうと考えます。



※（１）輪投げ／（２）輪投げリレー

① 方法

（１）新聞紙を輪の形に各々自作します。そして傘を的にして輪投げをします。



（２）（１）で自作した新聞紙の輪を繋げた大きな輪を、隣の人に体全体を使って回したり、足だけを使用して回していきます。



② 勝敗

輪投げは回数やラッキーナンバーを設定して競います。輪投げリレーは時間を競います。

③ 特徴

まず、各人が新聞紙の工作をするので、多種多様な輪っかができる楽しみがあります。また、その輪っかを別の競技にも応用することができ、かつ皆の輪をつなげて行うので、連帯感も生まれやすいと推測します。

2022 年度事業計画

設立より、当基金が目指してきたことは、障害の有無に関わらず、誰もが相互に人格と個性を尊重し支えあふ「共生社会」の実現であり、様々な視点で障害のある人たちへの課題を考える機会をつくることを目的とした事業への取り組みを、引き続き展開していきたいと考えております。

1. ふれあいの広場事業

(1) ふれあいのスポーツ広場の実施

障害の有無に関わらず、軽スポーツを通じ、共に楽しみ、交流することを目的とし、当基金設立時より実施している事業です。1992 年度以降は「全日本自動車産業労働組合総連合会（自動車総連）」より物心両面にわたるご支援をいただきながら、開催しています。

2021 年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、鹿児島会場をみの開催となりました。

2022 年度は、ふれあいのスポーツ広場の意義・目的を踏まえつつ、感染予防対策を徹底しながら全都道府県での実施を目指します。

競技内容については、日本福祉大学教授の藤田紀昭先生を中心に、非接触で人との距離を保ちながら実施できるプログラムの開発を進めており、加えて密を防ぎ、換気や消毒を徹底するなど、スポーツ団体が規定するガイドラインに沿った運営に努めます。

引き続き、新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、開催自体の延期・中止も視野に入れながらの準備作業となりますが、多くの関係者、ボランティアの皆様のご支援をいただきながら、全力で推進してまいります。



実施時期	2022 年 4 月～ 2023 年 3 月
開催地域	全都道府県を予定
開催数	全国 47 会場（予定）
共催	全日本自動車産業労働組合総連合会
後援	内閣府、スポーツ庁、開催都市、開催都市教育委員会等
協力団体	日本福祉大学 藤田ゼミ・兒玉ゼミ 仙台ユニバーサルスポーツ研究会 （公社）日本エアロビック連盟



(2) ノンバーバル・コミュニケーション・ワークショップの実施

障害の有無に関わらずお互いが尊重しあえるように、ノンバーバル（非言語）という方法でコミュニケーションについて学ぶ場づくりをいたします。

過去 2 年間は、2019 年台風 15 号において被害にあわれた千葉県内の障害者施設での取り組みを予定してありましたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により延期となりました。

2022 年度は、引き続き千葉県内の障害者施設

での実施を計画いたします。

実施時期：2023年2月

対象者：障害のある方、教職員、ボランティア等

ファシリテーター：庄崎 隆志

(office風の器主宰・俳優・演出家)

メイミ

(漫談家・NPO法人笑顔工房理事長)



2. 開発、普及及び育成事業

(1) 各事業報告書の発行

障害の有無に関わらず、共に楽しむことのできる手法で、様々な事業展開をしている中で、その考え方や手法を、多くの方に知っていただき、様々な活動の中で取り組んでいただけるよう、下記の報告書を発行致します。

刊行時期：2023年3月

発行部数：当基金ホームページにおいても掲示。
無償配布。

発行報告書：ふれあいのスポーツ広場 / ノン
バーバル・コミュニケーション・
ワークショップ / 調査研究事業

(2) ニュースレターの発行

当基金が設立以来、事業活動の基礎とし周知に努めている障害の有無に関わらず共に楽しみ、共に取り組みながら相互理解を深めていくための「ふれあいの広場」事業を、その理念や活動

内容、プログラムの手法などの情報を中心に掲載した機関誌「ないすはあと」を年4回発行します。

発行月：6月、9月、12月、3月

発行数：当基金ホームページにおいても掲示。
無償配布。

内容：ふれあいの広場事業に関わるプログラム内容、手法、実施の状況等

3. 調査研究事業

(1) ユニバーサルスポーツ研究事業～障害者施設・団体とのネットワーキングを深める

新型コロナウイルスの感染拡大により、予防対策のため様々な属性の個人、団体が従来保っていたつながりが弱くなってきている状況があります。とりわけ多くの個人、団体とのつながりの中で運営されてきた障害のある方の施設や団体においては影響が大きなものとなっています。

コロナ禍のなかでも取り組みに工夫をこらしながら活動を行っている障害福祉サービス事業所の現場の取り組みについて研究し、地域における社会参加の拡がりにつなげていきたいと考えています。

実施主体 公益財団法人国際障害者年記念ナイスハート基金
有識者による研究会

研究目的 新型コロナウイルス感染症対策のため施した障害者福祉サービス事業所や団体の取り組みを取り上げ研究する。

成果物 報告書を作成。当基金ホームページにて配布

～ふれあいのスポーツ広場上半期の開催日程～

自動車総連の皆様のご支援により全国各地で展開している「2022 年ナイスハート・ふれあいのスポーツ広場」は、新型コロナウイルス感染症予防に充分留意をした運営方法、競技内容、参加者の規模として、4 月から開催を予定しています。(3 月 28 日現在 17 会場を予定) 3 密になることを防ぐため、ご参加頂く人数を制限することとなり、ご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解・ご協力のほどよろしくお願いします。

No.	開催地	日程	会場
1	鹿児島（鹿児島）	4 月 4 日（月）	鹿児島市民体育館
2	高知（南国）	5 月 10 日（火）	南国市立スポーツセンター
3	愛媛（松山）	5 月 11 日（水）	愛媛県武道館
4	富山（富山）	5 月 14 日（土）	富山市南総合公園体育文化センター
5	岩手（盛岡）	5 月 16 日（月）	盛岡タカヤアリーナ
6	山形（河北）	5 月 17 日（火）	河北町民体育館
7	福島（須賀川）	5 月 21 日（土）	須賀川アリーナ
8	長野（東御）	5 月 21 日（土）	東御中央公園第 1 体育館
9	岡山（倉敷）	5 月 28 日（土）	水島緑地福田公園体育館
10	奈良（橿原）	5 月 30 日（月）	ジェイテクトアリーナ奈良
11	栃木（宇都宮）	6 月 4 日（土）	わかくさアリーナ
12	京都（京都）	6 月 5 日（日）	京都市障害者スポーツセンター
13	岐阜（関）	6 月 7 日（火）	アテナ工業アリーナ
14	福岡（福岡）	6 月 13 日（月）	福岡市総合体育館
15	兵庫（西宮）	6 月 15 日（水）	兵庫県立総合体育館
16	福井（越前）	6 月 19 日（日）	丹南総合公園体育館
17	石川（金沢）	6 月 20 日（月）	いしかわ総合スポーツセンター

※なお今後の新型コロナウイルス感染拡大の状況に鑑み、開催の変更等があるかもしれませんので予めご了承くださいませ。

ナイスハートなご支援をありがとうございました

2021 年 12 月から 2022 年 3 月迄の間に、当基金へ寄付金を頂戴いたしました。新型コロナウイルス感染症の影響により、当基金の活動も大きな影響を受けている中、今後の活動に向かう上で、たいへん励みになります。

いただきました資金は、それぞれの活動のために有効に使わせていただきます。ありがとうございました。

【寄付金】

谷本ひろ子様、袴 成光様

